
大丈夫

地球の星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大丈夫

【Nコード】

N2800G

【作者名】

地球の星

【あらすじ】

世の中が不景気であっても、大丈夫と言ってみましょう。自分に短所があっても、大丈夫と言ってみましょう。損をしても、大丈夫と言ってみましょう。大変でも、大丈夫と言ってみましょう。あなたの人生が明るくなります。他人の人生も明るくすることが出来ます。誰でも言える魔法の言葉を、あなたも言ってみましょう。

1. 不景気でも大丈夫

今、世の中では不景気に関する話題が多いです。

企業の売り上げの減少、失業問題など、数えたらいくつも出てきます。

何か明るい話題がないものかと思っている人もいることでしょう。僕自身、テレビを見ている時には、暗い話題に付き合わされることを嫌って、ニュースを敬遠する傾向が出てきた気がします。

でも、明るい話題なら、読者の方々は1日1回必ず経験しています。

それは、今日1日を無事に過ごせたことです。

何だと言いたくなるかもしれませんが、それでも立派な明るい話題です。

ちょっとした奇跡と言ってもいいかもしれません。

自然界では1日を生きることとても過酷です。

海に生きる魚類は、卵として生まれた個体が無事に親となって、子供を残せる確率は1万分の1とも言われています。

アリは、いつ人間によって踏みつぶされて、命を落とすことになるのか分かりません。

草原世界で生きる動物達も、いつ敵に襲われるか分かりません。

もし、穴に足を取られて、骨折でもしてしまえば、その個体に待っているのは、間違いなく死です。

それを考えれば、私達は何て幸せなんだろうと考えることも出来るようになります。

人間世界に置き換えてみても、戦後の貧しい時期は、今よりもっと過酷だったはずです。

私達は自分達の生活を「貧乏」と言うことがあるかと思えます。しかし、国によっては同じ「貧乏」という言葉であっても、意味はもっと深刻です。

その日1日をどうやって生きていけばいいのか。

自分達に、明日はあるのだろうか。

そのような意味合いが込められていることもあるでしょう。

それを考えれば、私達は何て幸せなんだろうと考えることも出来るようになります。

それでも、世の中は不景気です。

これらの例を出されてもと思うこともあるでしょう。

しかし僕自身は、これまでが恵まれすぎたと考えるようにしています。

世の中がプロスポーツチームの理念のような状況になりつつあるなと思っています。

プロスポーツチームには常に競争がなければいけません。

レギュラーが全員確約されているような状況では、控え選手達はやる気が起きなくなります。

当然、そのチームは最下位に沈むでしょう。

つまり、世の中において、競争や生き残りの理念というものは必要なものなのです。

では、競争に敗れ去ったら、どうすればいいのでしょうか？

その時こそ、新しいことに挑戦するチャンスです。

プロ野球やサッカーJリーグでは、それまで目立たなかった選手が、他チームに移籍することによって見事にレギュラーをつかみ、ブレイクするといったケースを見ることがあります。

他にもプロ野球の世界では活躍出来なかった人が、格闘技など、他の世界で活躍したというケースもあります。

僕自身も、会社の解雇や失業を経験していますが、それを機に新しい分野の職業に挑戦し、新たな可能性を見つけ出すことが出来ました。

もし失業を経験していなかったら、失うものを恐れて、最初に就いていた、自分に合わない職業に何が何でもしがみつく日々になっていたかもしれません。

結果的に、今の姿もなかったかもしれなせん。

世の中が不景気と言っても、それは新しいことに挑戦するチャンスと考えることも出来ます。

今までにたまった膿を出すチャンスと考えることも出来ます。

今までのことを振り返ってみるチャンスと考えることも出来ます。不景気でも大丈夫。

2. 短所があっても大丈夫

人は誰もが長所と短所を持っています。

私達は、時には短所なんかなければいいのにと感じることもあると思います。

では、もし自分に短所がなくなったらどうなるのでしょうか？
もしかしたら、このようなことになるかもしれません。

A 「一つ、お願いがあるんですけど、いいですか？」

B 「何ですか？」

A 「あの…、僕と、付き合ってもらえますか？」

B 「…ごめんなさい…。」

A 「どうしてですか？僕は、テストで当たり前に100点を取るほどの天才で、どのスポーツでも万能に出来て、ハンサムで、お金持ちで、身長は1cmとして高すぎることも低すぎることもなく、体重も1kgとして重過ぎず、軽過ぎずで、そして…。」

B 「それだから嫌なのよ！そんなあなたと付き合ったら、私が疲れてしまうわ！みんなからはうらやましそうな目で見られるし、私がおか失敗をしたりすると、あなたからは『そんなことも出来ないのか？』と言われそうだし。」

A 「…。」

別の例を挙げると、このようなことになるかもしれません。

A 「何で今日のサッカーの試合で、おれにパスを回してくれなかったんだよ！」

B 「だって、お前にボール渡すと、いっつつもそのままドリブルして、相手を何人もかわして行って、ゴールを決めるというパターンになるじゃないか！」

A「パスミスをするような奴にパスなんか回せるか！おれがボールを持てば正確無比で一つたりとも無駄のないプレーでゴールを決められるんだぞ！」

B「そんな奴とチームなんか組めないよ！一人でやってろ！」

A「おれほどの実力があれば、監督がエースとして起用してくれるさ！」

C「あいにくだが、お前のような一人だけ実力が飛びぬけていて、みんなと協調出来ないようなら、試合にはもう出せんな。」

A「…。」

結局、我々は長所と短所の両方があるからこそ、他人から愛される存在になれるのです。

自分の短所を見つけたら、前向きに評価してあげましょう。

短所があっても大丈夫。

3. 損をしても大丈夫

賭け事では損をしてしまうことが多々あります。

その時には、損をした分を取り返したいという意識が働くかもしれません。

しかし人生とは不思議なもので、何としても損を取り返したい、せめてプラスマイナスゼロまでには持っていきたいと思えば思うほど、損を重ねるものです。

恋愛では相手にふられてしまうことがあります。

その時には、これまで一生懸命、彼（または彼女）のために尽くしてきたのに、結局損をしてしまったという意識が働くかもしれません。

しかし人生とは不思議なもので、そのような意識を持ち続けているほど、新しい一步を踏み出せなくなります。

たとえ新しい相手が現れても、過去に損をしたという被害者意識を持ち続けていると、結局新しい相手にも愛想を尽かされてしまいます。

会社やプロスポーツチームで人を雇った時、その人が期待された実績を残せないまま、去っていつてしまうことがあります。

その時には、結局お金の無駄になってしまった。あいつは金食い虫だったという意識が働くかもしれません。

しかし人生とは不思議なもので、そう考えていれば、次から失敗をすることが怖くなってきます。

絶対に失敗をしたくないと思うあまりに、新しい人を雇えなくなります。

そこに入ろうとしていた人も、何やらただならぬ雰囲気萎縮してしまいます。

世の中、何をするにも損はつき物です。

損を怖がれば、得になるようなことがあっても、歩み寄れなくなってしまう。

結果的にますます損をしてしまいます。

損をしたら、そんなこともあると考えてみましょう。

失った時間からノウハウを学べばいいと考えてみましょう。

今度成功につなげるための手がかりになればいいと考えてみましょう。

お金はいくらか失ったけれど、いい授業料になったと考えてみましょう。

そう考えられる人のところに、福は舞い込んでくるのです。
損をしても大丈夫。

4. 寿命を伸ばすおまじないをすれば大丈夫

私達の寿命には必ず限りがあります。

これは絶対に覆せないことです。

しかし、（あくまでおまじないではありませんが）寿命を伸ばす方法があります。

逆に縮める方法もあります。

腹を立てれば寿命が1日縮みます。

笑えば寿命が1日伸びます。

「だめだな。」「無理だな。」と思えば寿命が1日縮みます。

「自分なら出来る。」と思えば寿命が1日伸びます。

沈んだ顔のため息をすれば、寿命が1日縮みます。

イキイキした顔で深呼吸をすれば、寿命が1日伸びます。

過去の不幸な出来事を思い出せば、自分の寿命が1日縮みます。

誰かと楽しく笑った出来事を思い出せば、自分の寿命が1日伸びます。

誰もいない時に、独り言で他人の不幸を願えば、自分の寿命が1週間縮みます。

誰もいない時に、独り言で他人の幸福を願えば、自分の寿命が1週間伸びます。

ネットで不快なメッセージを書き込めば、自分の寿命が1週間縮むだけでなく、読んだ人々の寿命が1日ずつ縮みます。

ネットで明るいメッセージを書き込めば、自分の寿命が1週間伸び

びるだけでなく、読んだ人々の寿命が1日ずつ伸びます。

他人のいる前で、その人を中傷すれば、自分の寿命が1週間縮むだけでなく、中傷された相手の寿命が1ヶ月縮みます。

他人の前で、その人の心の支えになることを言えば、自分の寿命が1週間伸びるだけでなく、あなたに感謝してくれた相手の寿命が1ヶ月伸びます。

つまり、寿命は常に変動しているのです。

上記のような例を考慮して考えた場合、あなたの寿命は今日1日でどのようなになりましたか？

他人に対して怒った場合には、その後で、笑ってあげましょう。

それは相手が早く立ち直るだけでなく、自分のためにもなります。寿命を伸ばすおまじないをすれば大丈夫。

5. 冗談の意味合いがあっても大丈夫

僕は語学の教科書に書いてあった言葉を引用して、

「〴〵さんは、本当に立派ですね。」

「〴〵さんは、笑う時が一番素敵です。」

というようなことを、本人の目の前で何回も言ったことがあります。

相手からは「冗談でしょ？」とよく言われます。

実際、僕自身も心のどこかで冗談を交えて言いました。

しかし、たとえ冗談であったとしても、相手の気持ちを前向きにしたり、いい意味で調子付けさせたりすることが出来るのであれば、個人的には大成功だと思っています。

現に相手は「冗談でしょ？」と言いながらも、嬉しそうに笑っていました。

それを見て、こっちも嬉しくなりました。

もし100%真面目な気持ちで

「〴〵さんは、本当に立派ですね。」

「〴〵さんは、笑う時が一番素敵です。」

と言ってしまうと、何だかシリアスな雰囲気になってしまいます。相手にはかなりのプレッシャーを与えてしまいます。

（この人には何か魂胆でもあるのではないか。）

と思われてしまいます。

これではせっかくの前向きなコメントがご破算になってしまいます。

一方で100%冗談でもいけません。

これでは相手には下手なお世辞や嘘とられてしまいます。

ふざけた人と思われてしまうかもしれません。

結局、相手に言う言葉には、何％、もしくは何割かの割合で冗談の意味合いを持たせておいたほうがいいのです。

真面目と冗談という相反する2つの要素が合わさることによって、相手には

「私は本当に立派な人なんだ。」

「私は笑う時が一番素敵なんだ。」

と前向きに信じてもらうことが出来ます。

話す時に、冗談の意味合いがあっても大丈夫。

6. 大変でも大丈夫

人には誰でも大変な時があります。

もし大変な時と、楽な時を選ぶとしたら、楽な時を選びたくならないと思います。

自分の意思で大変な道を選んだとしても、苦境に陥ると後悔したり、やっぱり楽な道を選んだほうが良かったのではと思う時が来ると思います。

しかし、そういう時にこそ効果的なアドバイスもあります。

映画「子ぎつねヘレン」にも出てきますが、「辛」という漢字に一本の横線を書き加えれば、「幸」となります。

これを引用して、

「今、辛いということは、幸せになるための8つ（「辛」の画数が8画だから）の手がかりのうち、7つまで見つけたということなんだ。そして後1本が見つからずにいる状態なんだよ。」

と言ったことがあります。

英語で会話している時、他の人が大変そうな表情をしながら「Hard」と言った時には、僕が「Today is a hard day:」（今日は大変な昼:）と同情するように言いながら、空を見上げ、「:no, a hard night.」（:じゃなくて夜だね。）と付け加えたりもしました。

（参考までに : これはリング・スターが映画の撮影の時に「It's been a hard day: is night.」
言ったセリフを参考にしたものです。）

「大変だ」は、韓国語では「ヒムドウルダ」と言います。

ヒムは力、ドウルダは入るという意味です。

辞書で調べた限りではあまり前向きなニュアンスはありませんでしたが、大変な時Ⅱ力が入る時と解釈することも出来ます。

日本語の「大変」という言葉には、「大きく変わる」という意味合いが隠されています。

実際、新しいアイデアは大変な状況になった時にこそ出てきます。僕自身も失業を経験して大変な時期がありました。だからこそ大きく変わることが出来ました。

辛いことを前向きに解釈することはなかなか大変なことです。大変なことだからこそやってみる価値があります。

大変でも大丈夫。

7. よく知らなくても大丈夫

スペインとモロッコの間にはジブラルタル海峡があります。

この海峡は大西洋と地中海の間にあり、航海には非常に重要な地点です。

世界地図を見た限りでは、海峡の近くにある都市ジブラルタルは、一見スペインにあるように見えますが、イギリス領と明記されています。

当然イギリスは、この都市は自国の領土だと主張しています。

一方で、スペインもこの都市を我々の領土だと主張しています。そのため、両国間で問題になっています。

このような領土問題は、世界の色々な国の間で起きています。

日本でも近隣の国との間にある問題のために、ゴタゴタに発展したり、嫌な思いをしたりすることがあると思います。

僕もニュースなどで報道された映像を見て嫌な思いをしたことがあります。

しかし、上記のように遠く離れた国の場合では

「ふうん、そうなんだ。」

「だから何？」

とくらいにしか考えていませんでした。

それはその国をよく知らないが故だと思っています。

しかし、よく知らないからこそ「知らぬが仏」という態度でいることが出来ます。

僕は、個人宛に書いた作品の中で、日本から遠く離れた国の人が日本と韓国について何か知っているかという質問の回答として

「日本と韓国について、歴史などは全然知らないけれど、唯一知っていることがあります。2002年にサッカーワールドカップを一

緒に開催しました。だから両国はすごく仲のいい国だと思っています。」

というセリフを書いたことがあります。

これはまさに「知らぬが仏」の例だと思います。

物事について詳しく知ることも大切なことです。

しかし、前向きなことを一つ知っていれば、その物事をよく知らなくても大丈夫。

8. 性格が違っても大丈夫

僕は人と意気投合する場合、考え方や好みが似ているからという場合が多いです。

実際、一緒によくカラオケに行きます。

一緒に中日を応援しに野球観戦に出かけたりもします。

まさに「類は友を呼ぶ」の例です。

その一方で、性格や好みがかなり異なる人と意気投合した例もあります。

例えば、夏と冬ではどちらが好きかという質問をした場合、僕は冬で、相手は夏でした。

夏にコーヒーを飲む場合では、僕はコールドしか飲まないのに対し、相手はホットが好みでした。

他にも性格や考え方、好みが正反対だったという例がいくつも出てきました。

思わず僕が

「こんなに違うのに、どうしてこんなに仲良く会話出来るの？」
と言いついてしまいました。

人生、考え方の違いが原因で人間関係が悪化する例はたくさんあります。

しかし、考え方が違うからこそ、新しい考え方を身につけることが出来たという例もたくさんあります。

僕自身、英会話をしている時に講師と意気投合したことが何回もありました。

正直、外国人のほうがかえって意気統合出来るのではないか。

日本人的な考え方よりも、欧米的な考え方のほうが僕にあっていないのではないかと何度も思いましたし、貴重な経験となりました。

（注…もちろん日本人的な考え方を否定するわけではありません。）

僕は自分の考え方にこだわりを持ちながらも、相手のことも考慮し、なるべく違いを認め合うように努力しています。

結果的に性格の違いが響いて、意気投合出来なかった例は多いですが、意気投合出来れば嬉しさは倍増します。

かけがえのない親友になることも出来ます。

性格が違って大丈夫。

9. もうやり直せなくても大丈夫

人生の中で、何か失敗をしたまま、もうやり直せない状況になってしまったというケースは、きっと多々あると思います。

僕の場合、野球で肩やひじ、さらには手首を故障した時、医者からは

「3週間はきちんと休みなさい。」

と言われたのに、その間、全力で投げることが控えたくらいで、結果的に部活に出続けてしまいました。

そして3週間後、しっかり治ってもいないのに「3週間がたったから」というだけの理由で、再び全力でボールを投げることが始めてしまいました。

それから間もなく、当然のように痛みが再発しました。

しかし、痛くても、「最後の大会が近いから」という理由で医者には行かず、一切の情報を隠していました。

それから3ヵ月後、最後の大会の時には、もうボールが投げられない程の状態になってしまいました。

そして今後、もう野球部での練習には耐えられないということをはっきりと自覚しました。

部活を引退後、他の部員は、後輩から

「これからも野球部で頑張ってください。」

と言われているのに、自分にはその言葉を言ってもらえない悔しさを味わいました。

あの時、自分の体のケアがあまりにもおろそかだったために、野球を続けることを不可能にしてしまったことは、今でも後悔しています。

今でも肩、ひじ、手首には故障がつきまっています。

しかし、その代償と引き換えに、もうあんな過ちは繰り返すまいという教訓を得ることも出来ました。

今となっては確かめる術はありませんが、あの時、故障がすんなりと治ってしまったら、後で別の形で大きな代償を背負うような経験をしていたかもしれません。

僕はそう考えながら、あの出来事は決して無駄ではなかったと信じています。

人生で、もう失敗を取り返すことが出来ないまま、心残りが出来ても、胸を張って生きてみましょう。

もうやり直せなくても大丈夫。

10. 同じことを言われても大丈夫

AとBが話をしています。あなたはAです。
ある日、友人と会話をしている時のことです。

A 「来週末、遊ぶ予定だったけれど、農作業の手伝いをする事になったから、行けなくなってごめんね。」

B 「いいですよ。それじゃ、日を改めてまた会おうね。」

後日、その人と会話をしている時のことです。

B 「今週末、遊べますか？」

A 「ごめん、遊べないんです。」

B 「えっ？なんで？」

さて、あなたはどうか答えますか？

遊べない理由は先週、一度話しています。

そして、同じ理由をまた話すことになりました。

この時、理由はもう話したのと言いたくなるかもしれませんが。

しかし、本当にそう言ってしまうてはいけません。

ムツとするかもしれません。

しかし、本当にムツとしてはいけません。

相手のBはその時、たまたま忘れていただけかもしれませんが。

Aであるあなたが言ったことが、あの時しっかりと聞こえていなかったのかもしれない。

それとも、昔あなたが「質問があれば、何でも気兼ねなく聞いてください。」と言っていたので、気兼ねなく聞いてきたのかもしれない。

あるいは、一応知ってはいるけれど、念のために聞いたのかもしれない。

少なくとも、相手に悪気はなかったはず。

それなのに、あなたが「理由はもう話したのに。」と言ってしまったら、相手は萎縮してしまいます。

それまでの明るい雰囲気が一変してしまいます。

相手には、（これからAさんの言ったことを、何でもかんでも覚えていなければならない。）というプレッシャーを与えてしまいます。

（以前「質問があれば、何でも気兼ねなく聞いてください。」と言っていたのに、違うじゃないか。）と思われると思います。

結局、あなたにとっても相手にとっても、いいことはありません。

つまり、以前言ったことをまた言うはめになっても、初めて言うのと同じような感覚で、もう一度言ってみることが最も良い選択なのです。

これはプライベートだけでなく、ビジネスの場面にも当てはまることです。

特に、大事な用件の場合には、たとえ相手がすでに理由を知っていたとしても、ダブルチェックのつもりでもう一度聞いてくる必要があります。

それをくどいと思ってしまうのは、職場でいい人間関係は築けません。

結局、他人に慕われる人というのは、同じことを2度聞かれたり、2度言うはめになっても、初めて言うのと同じような感覚で、もう一度言える人なのです。

同じことを言われても大丈夫。

11. 魔法の言葉を言い続ければ大丈夫

私達は、魔法の言葉をたくさん知っています。

それは決して特別なものではなく、私達が普段使っているものです。

「ありがとう」も、「こんにちは」も、この作品のタイトル「大丈夫」もそうです。

某CMのフレーズ「イインダヨ」もそうです。

言おうと思えば、誰でも言える言葉です。

しかし、私達はもっとこれらの言葉を使っていはいはずです。

使う魔法の言葉は何でもいいです。

日々の生活の中で、何度も何度も言ってみましょう。

口に出さなくてもかまいません。

心の中でつぶやくだけでもかまいません。

独り言でもかまいません。

することがない時に言ってみましょう。

一人ぼっちの時に言ってみましょう。

うれしい時に言ってみましょう。

怒ってしまった時に言ってみましょう。

顔を合わせにくいなあと思っていた人に、ばったり出会ってしまった時に言ってみましょう。

寂しい時に言ってみましょう。

1日100回以上を目標に言ってみましょう。

ほら、段々と気持ちが変わってきた気がしませんか？

これはまさしく、魔法の言葉のおかげなのです。

魔法の言葉を言い続ければ、人生が明るくなります。

誰でも出来ます。

良くない副作用は一切ありません。

人間関係も良くなります。

生きる勇気がわいてきます。

笑顔があふれ出てきます。

人生で悩んでいる人のカウンセリング役を果たすことができます。

他人に感謝される存在になることができます。

どんな状況になっても言い続けてみましょう。

魔法の言葉を言い続ければ大丈夫。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2800g/>

大丈夫

2010年10月8日15時30分発行